

第 9 回 多摩市総合計画審議会会議録（要旨）

- 開催日時 平成 31 年 3 月 22 日（金） 午前 9 時 00 分～午前 11 時 00 分
- 開催場所 多摩市役所特別会議室
- 出席委員 13 名（50 音順）
飯田 佳子委員、伊藤 雅子委員、尾中 信夫委員、小島 豊委員、榊 つきみ委員、
鈴木 充委員、妹尾 浩也委員、野坂 美穂委員、長谷川 尚美委員、藤井 敬子委員、
藤本 潔委員、松井 望委員、横山 誠一委員
- 欠席委員 田村 豊委員、中島 康予委員
- 事務局
藤浪企画政策部長、田島企画課長、秋葉企画調整担当主査、西村主任、三富主任
パシフィックコンサルタンツ㈱ 森下氏
- 傍聴者 なし
- 議事日程
開会
1 前回要点録の確認
2 今後のスケジュールについて（報告）
3 前回審議会以降の主な修正点について（報告）
4 成果指標に対する審議会意見一覧と総合計画への反映状況について（報告・議論）
5 市民ワークショップ意見一覧と総合計画への反映状況について（報告・議論）
6 その他
閉会

会 議 録 (要旨)

【開会】

出席委員は13名であり、過半数の出席があるため審議会は成立した。

【前回要点録の確認】

前回要点録（資料1）の確認を行い、修正等無く了承された。

【今後のスケジュールについて（報告）】

資料2について、事務局より説明。

【前回審議会以降の主な修正点について（報告）】

資料3について、事務局より説明。

【成果指標に対する審議会意見一覧と総合計画への反映状況について（報告・議論）】

資料4について、事務局より説明。

委員 資料6の45ページ中段の、「学童クラブはこの4年間で289人の定員増を図りつつ、障がい児のみ5・6年生の受け入れを始めたものの、」という部分について、「ものの」という表現では渋々受け入れたような印象を受ける。表現を見直して欲しい。

事務局 庁内でも意見が出ていたところなので、見直しを検討したい。

委員 同じく資料6の4ページ中段の、「高齢者は定年退職後も就労することが当たり前になりつつある。」という表現が気になる。就労の受け入れ態勢に課題が残されているのが実態と思われるので、「就労に意欲を示す高齢者が増えている」等としてはどうか。

会長 この部分は改定方針を抜粋した箇所であるため、修正は難しい可能性がある。ただ、指摘はその通りだろう。別の箇所だが、178ページの表中の西暦が間違っているのではないか。

事務局 西暦表記については修正したい。

委員 52ページの施策A1-4について、指標①「若者のひきこもり相談件数（延件数）」の目標値が2022年度と2028年度で数値が変わっていないが、現在掲

載されている数値は延件数ではないのではないかと。

事務局 各年度の実相談件数の可能性があると思われる。確認したい。

会長 67ページの施策B1-1に関連して、児童喫煙防止条例は本基本計画開始時点で施行される予定か。

事務局 その予定である。

会長 市の条例だけでなく、都条例と健康増進法の改正に伴った対応も考慮出来る方が良いのではないかと。検討して欲しい。

委員 59ページの施策A2-2の(2)②「保護者、関係機関等との連携の推進」について、前回から文言が修正されているようだが、以前はあった「スクールソーシャルワーカーや教育相談機能等を活用」という文言が、今回の資料では削除されている。スクールソーシャルワーカーについての脚注も含め、残すべきではないかと。

会長 意図的に削除したのか、それとも「関係機関」という表現に含めた形か。

事務局 恐らく丸めた形と思われるが、経緯を確認して調整したい。

委員 98ページの施策C2-2の成果指標の並び順について、国際交流に関連する指標として、「④国際交流センターが実施している外国人向けの日本語教室の参加者数」を「②国際交流活動に『参加している』、『参加したことがある』と回答した市民の割合」のすぐ後に記載した方がよいのではないかと。また、④については、「多摩市の国際交流センター」という具体的な表現でなくて良いかと。

会長 もし施策と所管課の対応関係が明確で、かつ今後4年間に大きな組織再編も予定していないようであれば、各施策の責任を持つ所管課名を記載すると良いのではないかと。市民に期待する役割等を記載する一方で、行政側の所管課が具体的に記載されていないのはアンバランスとも思われる。検討して欲しい。

事務局 記載は可能と思われる。

委員 施策A1-2の「ひとり親家庭の支援に関する内容について、多摩市にはひとり親家庭の会「ほほえみ」がある。加入していないひとり親家庭もいると思われるため、周知を充実させることはできないかと。

会長 組織名は明記しない形になると思われるが、地域の団体への情報提供などは、この4年間の取り組み内容としては考えられるだろう。検討して欲しい。

委員 今回の改定の中で委員から提案のあった成果目標値について、データが存在しないため反映できなかった箇所も多く見られたと認識している。次回の計画策定時と同じようなやりとりを繰り返さないよう、今回提案・意見が出た箇所については、次回の計画策定時までには新たな調査の実施やデータの収集を検討して欲しい。

会長 次回の計画策定時には、より実態にあった指標を設定できることが望ましいだろう。

委員 153ページの「総合計画の進行管理」の今後4年間の重点的な取り組みに、文言を追加できると良いのではないかな。

会長 主な取り組みの方向性（2）等に追加できると良いだろう。

事務局 頂いた意見を踏まえ、工夫できる部分は工夫していきたい。

会長 パブリックコメントが4月5日から予定されているが、本日の資料6には修正中の箇所がまだ多く残っているように思われる。パブリックコメントには修正中の箇所が無い形で出して欲しい。

事務局 パブリックコメントでは、4月2日に予定している専門委員会において確定した案を用いる予定である。

【市民ワークショップ意見一覧と総合計画への反映状況について（報告・議論）】

資料5について、事務局より説明。

会長 資料6の172ページの「3 市民参画」には、市民参画の実施概要のみが記載されているが、市民意見が計画に反映されていることを示す根拠として、資料5のような内容的な反映状況も追加してもいいのではないかな。

委員 先ほどの議題に戻るが、114ページの指標に市内各駅の乗降客数が記載されているが、3駅を比較しているようにも見える。拠点地区の活性化という施策の趣旨を踏まえると、市外の主要駅との比較があると分かりやすく良いのではないかな。実数のみでは捉え方が分かりづらいと考える。

会長 乗降客数が持つ意味を分かりやすく補足してはという意見と思う。

事務局 冊子に製本する段階では、全体の余白部分に図表・写真等を追加する予定である。その際に、現状を周辺と比較するグラフ等の掲載はあり得ると考える。

会長 図表・写真等が追加されるようであれば、他のページでも、過去に審議会に提出された基礎調査結果から活用できる内容も掲載出来ると良い。

会長 その他、特に意見が無いようであれば、パブリックコメント前の今回までで審議会として一旦内容をまとめた形になるため、これまでの全体を振り返った意見等があれば頂きたい。

委員 計画案については、前回時点の内容から精査が進められており、パブリックコメントにも問題なく出せる状態になったと考える。ただ、審議会全体を通して二点ほど意見を述べておきたい。まず一点、事務局・庁内での資料作成が間に合わず「調整中」という形での資料化、同時並行という形が多かったが、そのような形は出来るだけ避けて欲しい。もう一点、今回の改定においては、審議会では成果指標についての議論が中心となったが、施策そのものについてもっと議論をすべきだった、という思いもある。審議会委員はそれぞれ様々な専門的知見を持っているため、施策そのものについて議論をもっと充実させて欲しい。

会長 2点目については、かなり時間が必要になるとは思われ、もどかしさはあるが、同感である。次の計画への申し送り事項については、先ほどあった指標の改善のためのデータ整備に関する意見も含め、市長に伝えられると良いかもしれない。

会長 今回出た意見も踏まえ事務局で修正した内容は、事務局と私で確認させて頂きたい。

【その他】

第10回審議会の日程は、5月16日（木）とする。

【閉会】